



●図書室利用案内

(*一年生の皆さんは「高校生活のしおり」 p 25～27 も読んでおいて下さい。)

☆場所	1階	下足室前
☆利用時間	平日	12時40分～16時30分 (ただし、16時30分～19時まで自習室として利用することも可)
	土曜	12時40分～13時25分
☆貸出冊数	一人3冊まで	
☆貸出期間	2週間 (期限内に読みきれない場合は一回だけ継続して借りることができますので、係の先生に申し出てください。)	
☆図書に係	野瀬 (司書教諭)・石崎 (事務)	



●昨年度貸出回数が多かった本

* 昨年度、生徒の皆さんに人気のあった本です。まだ読んだことのない人はぜひ読んでみましょう。

『ロクヨン』(横山秀夫)、『火花』(又吉直樹)、『何者』(朝井リョウ)、『境遇』(湊かなえ)、
『海に見える理髪店』(荻原浩)、『ハリー・ポッターと呪いの子』(J. K. ローリング)、
『植物図鑑』(有川浩)、『羊と鋼の森』(宮下奈都)、『小説 君の名は。』(新海誠)、
『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』(七月隆文)、『コンビニ人間』(村田沙耶香)
『暗幕のゲルニカ』(原田マハ) など

●新着図書のお知らせ

『騎士団長殺し』(村上春樹)

その年の五月から翌年の初めにかけて、私は狭い谷間の入り口近くの、山の上に住んでいた。夏には谷の奥の方でひっきりなしに雨が降ったが、谷の外側はだいたい晴れていた…それは孤独で静謐な日々であるはずだった。騎士団長があらわれるまでは。

『1Q84』から7年— 待ちかねた書き下ろし本格長編。

『マンガでおさらい中学英語英文法マスター編』(フクチマミ)

中学の範囲をベースにした英文法をマンガでおさらいできる、英語やり直し本のシリーズ第2弾。関係代名詞も、現在完了も、あのときつまずいたところをマンガで解説!

『罪の声』(塩田武士)

多くの謎を残したまま昭和最大の未解決事件となった「グリコ・森永事件」。菓子に毒物を混入し企業を脅迫。身代金取引の電話では子供の声が使われ「かい人 21 面相」などと名乗った挑戦状が送りつけられるという陰湿な事件だった。『罪の声』はこの事件をモデルにしたフィクションである。圧倒的な取材と着想で描かれ、各種メディアで紹介された話題の長編小説。

『高校生のための選挙入門』(斎藤一久)

高校生に、選挙に関わる事例を具体的に解説。ネットでの選挙運動の方法、選挙違反の実例、日本と各国の投票率の比較など、気になる事例を掘り下げた、授業でも使える23章。選挙が身近になる11のコラム付き。

●寄贈図書のお知らせ

『リバーズ』(湊かなえ)、『織田信長四三三年目の真実』(明智憲三郎)、
『検察側の罪人上・下』(雫井脩介)、『潜る女アナザーフェイス8』(堂場瞬一) など

